

令和5年度 第1回 土岐川庄内川流域委員会  
【最近の河川事業を取り巻く話題】

令和6年1月30日  
国土交通省 中部地方整備局  
庄内川河川事務所

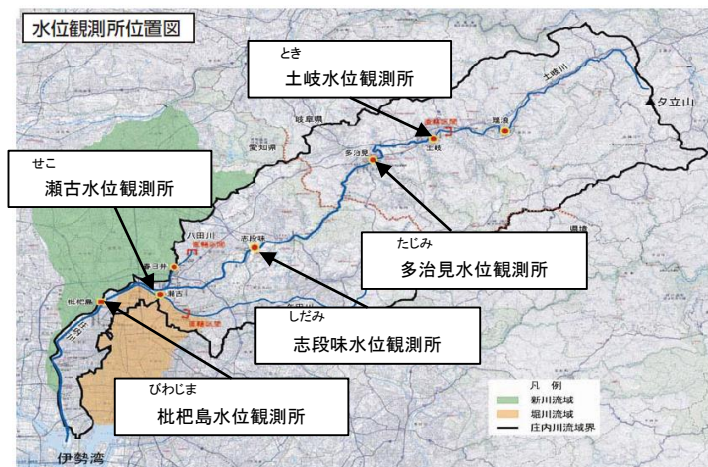
1. 令和5年6月出水の概要	3
2. 庄内川水系流域治水プロジェクトの取組状況	13
3. 流域治水プロジェクト2.0の動向	19
4. 小里川ダム20周年の取組	27

# 1. 令和5年6月出水の概要

# 1. 令和5年6月出水の概要

- 令和5年6月1日～3日かけて、台風第2号及びそれに伴う前線の活発化により庄内川流域において大雨となった。
- 論栢雨量観測所(岐阜県瑞浪市)では、6月2日13時～14時までの1時間に38mmの降雨を記録した。
- また、6月1日0時から6月3日24時までの累加雨量は192mmを記録した。
- 土岐水位観測所のピーク水位は令和3年8月出水と同規模の4.82mを記録した。

## ■観測所位置

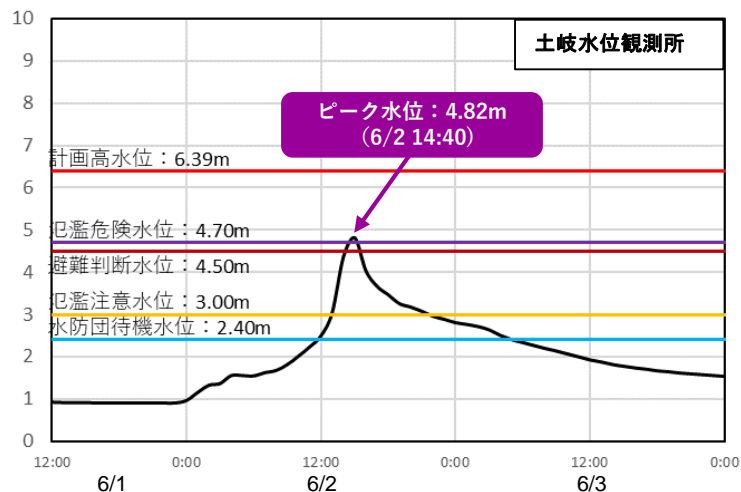


## ■平成23年9月出水以降の洪水ピーク水位（土岐水位観測所）

順位	発生日月日	水位(m)	備考
1	R5.6.2	4.82	豪雨
2	R3.8.14	4.81	豪雨
3	H28.9.20	4.53	台風第16号
4	H23.9.20	4.08	台風第15号
5	H29.8.18	3.90	豪雨
6	R02.7.11	3.89	豪雨
7	H29.7.4	3.76	台風第3号
8	R3.5.21	3.75	豪雨
9	H25.9.16	3.75	台風第18号

※ 1位、2位のみ10分データで整理

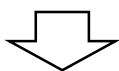
## ■河川の水位状況（R5.6.1～R5.6.2）



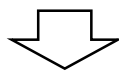
# 1. 令和5年6月出水の概要

## ○ 平常時と出水時の比較 庄内川(土岐川): 岐阜県区間

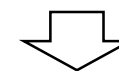
### ■ 新土岐川橋付近 (河口から58.9km付近)



### ■ 土岐水位観測所付近 (河口から57.9km付近)



### ■ 土岐川出張所付近 (河口から48.5km付近)

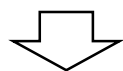


# 1. 令和5年6月出水の概要

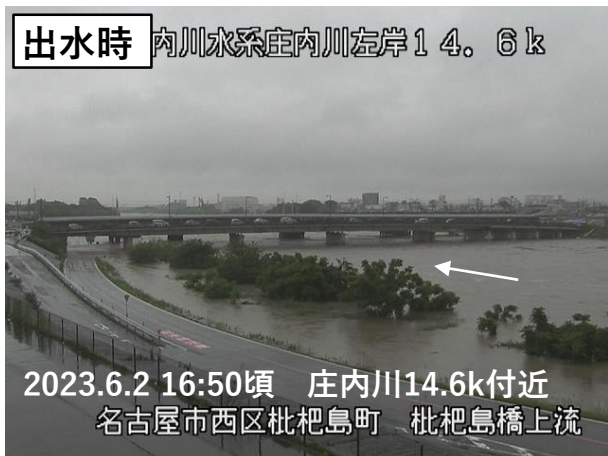
## ○ 平常時と出水時の比較 庄内川(土岐川): 愛知県区間

### ■ 枇杷島橋上流付近 (河口から14.6km付近)

平常時 庄内川水系庄内川左岸14.6k

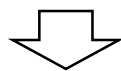


出水時 庄内川水系庄内川左岸14.6k



### ■ JR中央線上流付近 (合流点から5.6km付近)

平常時 庄内川水系矢田川左岸5.6k

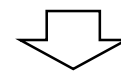


出水時 庄内川水系矢田川左岸5.6k



### ■ 新川中橋上流付近 (合流点から2.1km付近)

平常時 庄内川水系矢田川左岸2.1k

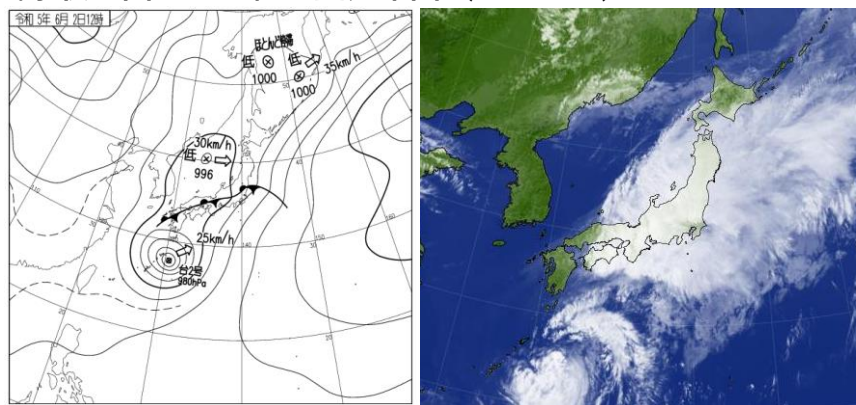


出水時 庄内川水系矢田川左岸2.1k



# 1. 令和5年6月出水の概要 【令和5年6月1日～3日の大雨の気象概況】

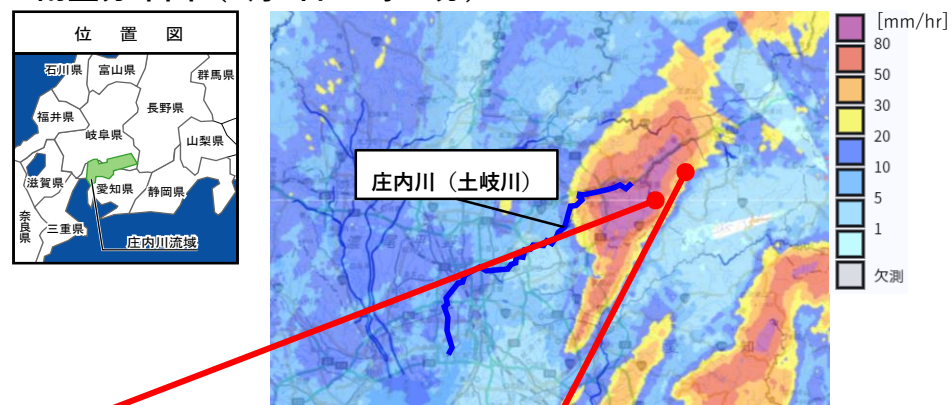
## ■気象状況図および総雨量分布図（レーダー）



出典：気象庁ウェブサイト  
天気図（6月2日12時）

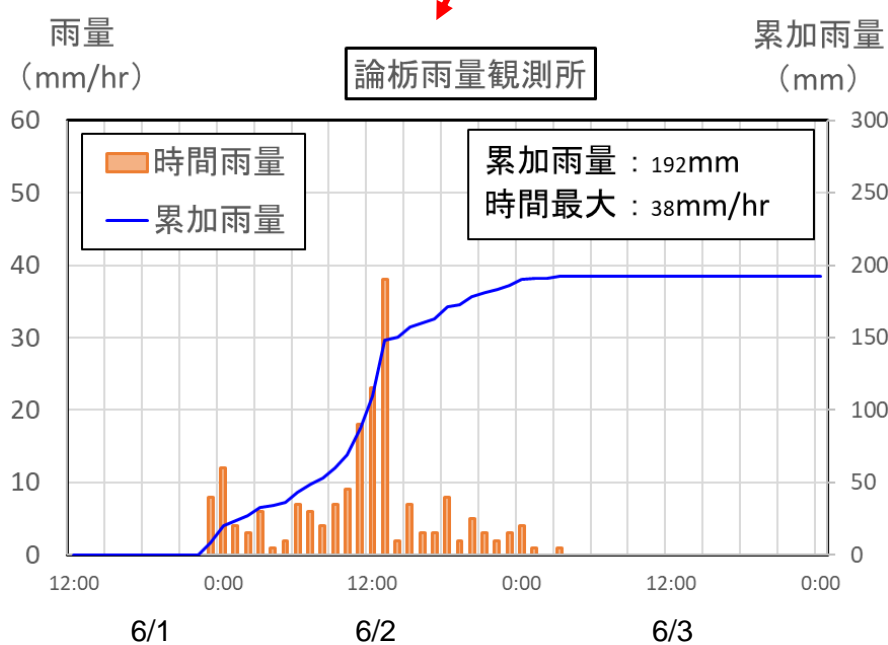
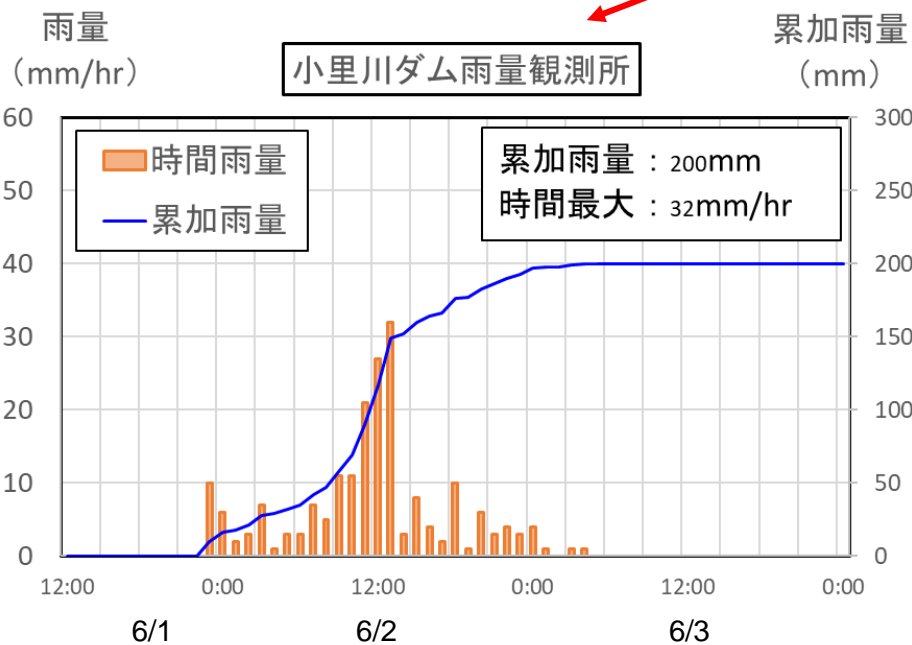
出典：気象庁ウェブサイト  
衛星画像（6月2日12時）

## ■雨量分布図（6月2日13時30分）



出典：川の防災情報

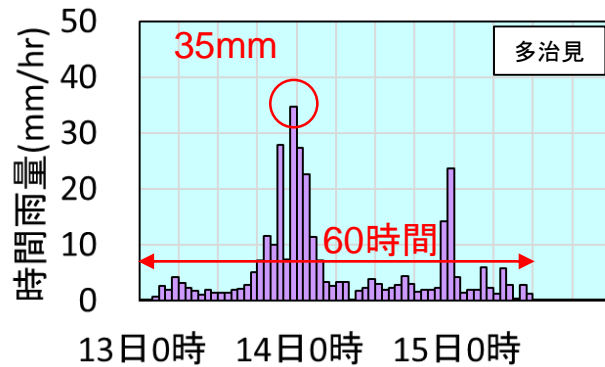
## ■時間雨量および累加雨量



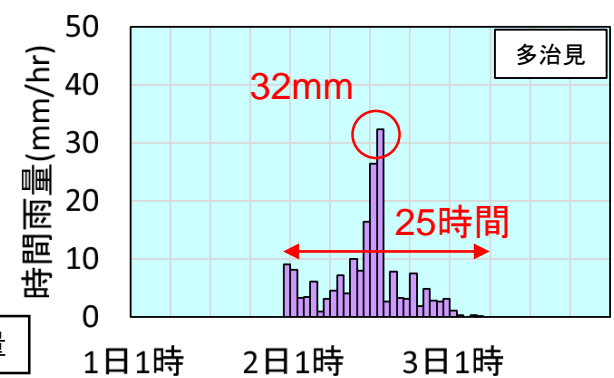
# 1. 令和5年6月出水の概要【令和3年8月出水との比較(空間分布)】

- 令和5年6月出水は、6月2日0時～3日1時までの25時間に降雨が生じ、多治見地点上流域の流域平均雨量で最大32mmが観測され、庄内川流域上流の南側に降雨が集中した出水であった。
- 令和3年8月出水と比較すると、降雨が続いた時間が短いため総雨量は少ないが、最大雨量は令和3年8月出水の35mmと同程度であり、氾濫危険水位を超過した土岐水位観測所付近では、概ね同規模の出水であった。

R3.8出水

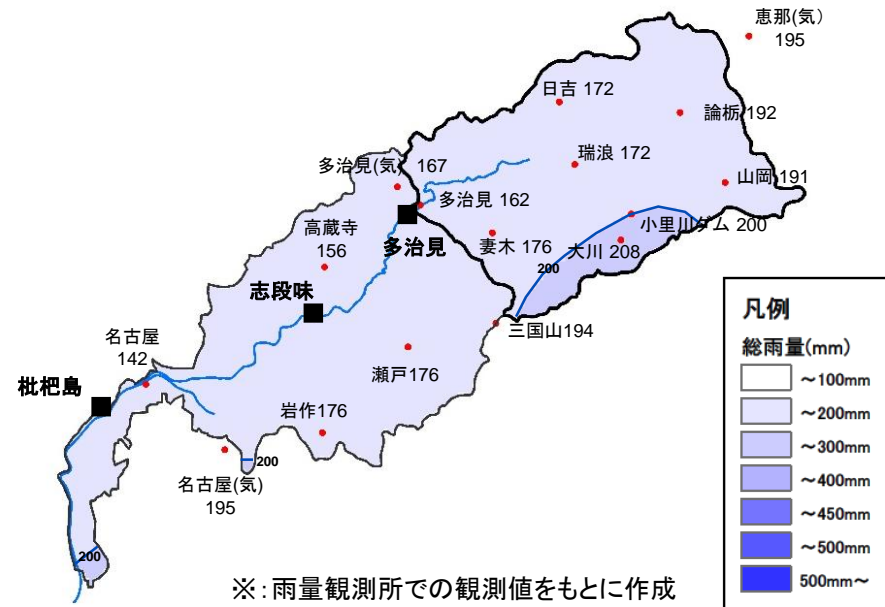
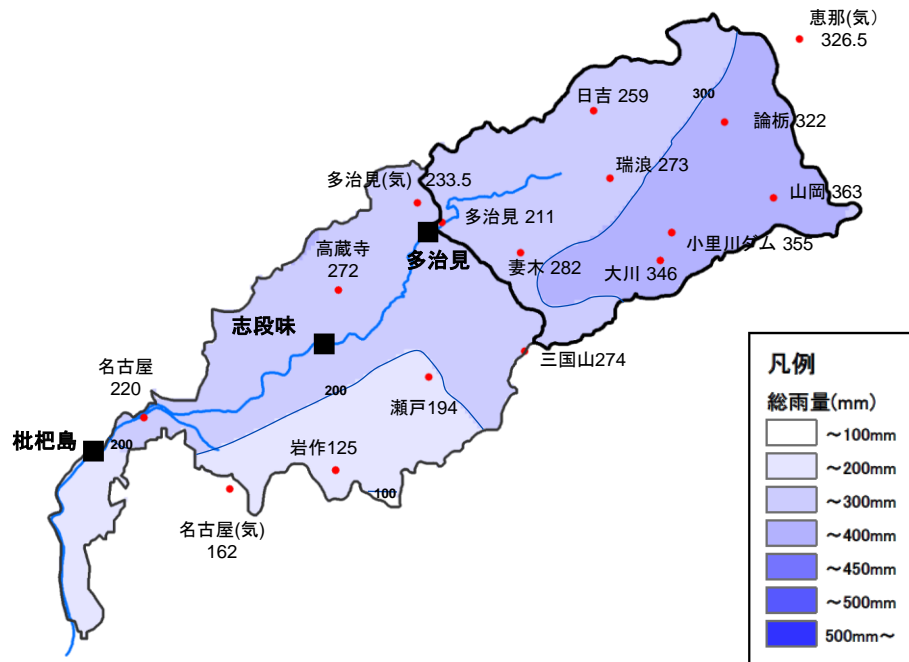


R5.6出水



流域平均雨量

流域平均雨量



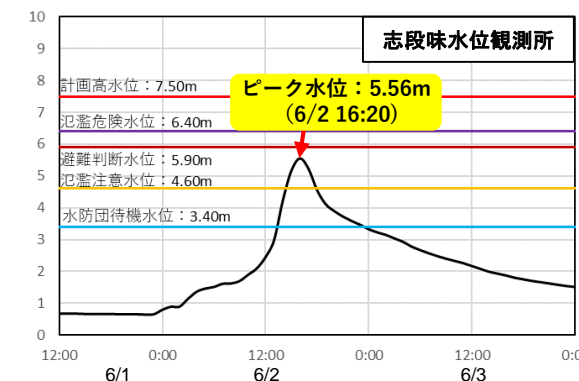
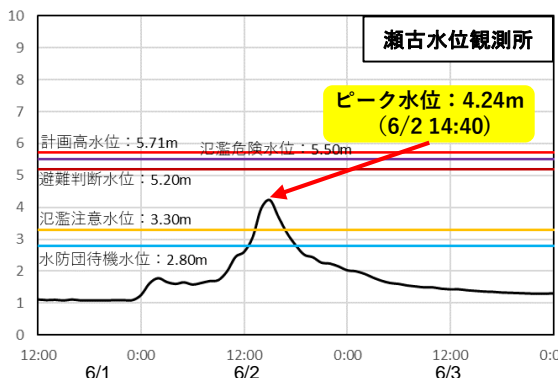
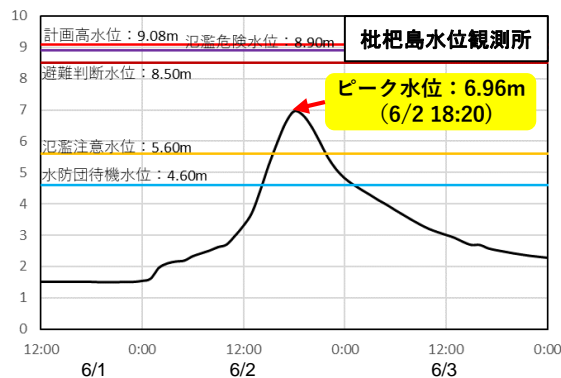
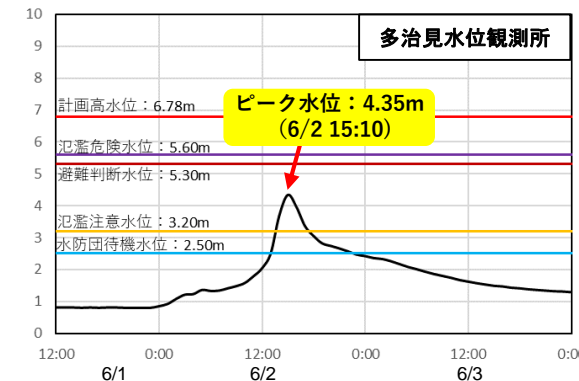
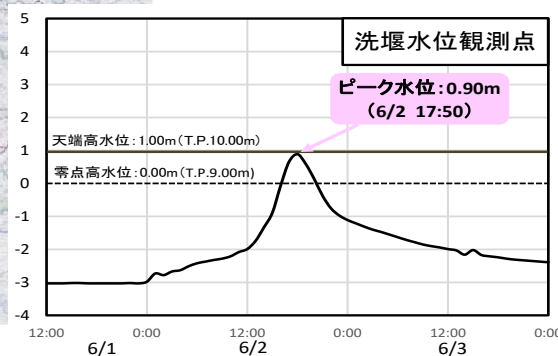
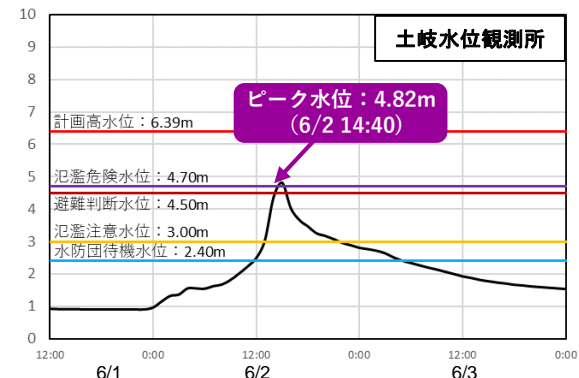
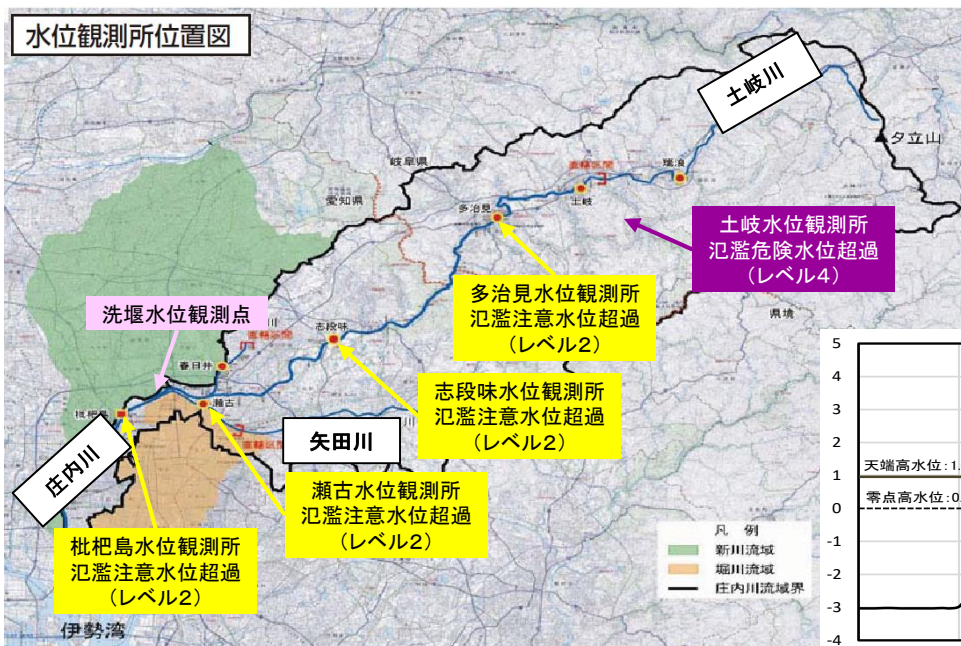
※:雨量観測所での観測値をもとに作成



# 1. 令和5年6月出水の概要【庄内川(土岐川)の水位状況】

- 土岐水位観測所で、氾濫危険水位を超過した。
- また、多治見、志段味、枇杷島、瀬古水位観測所は、氾濫注意水位を超過。

## ■各水位観測所の水位 (R5.6.1～ R5.6.3)

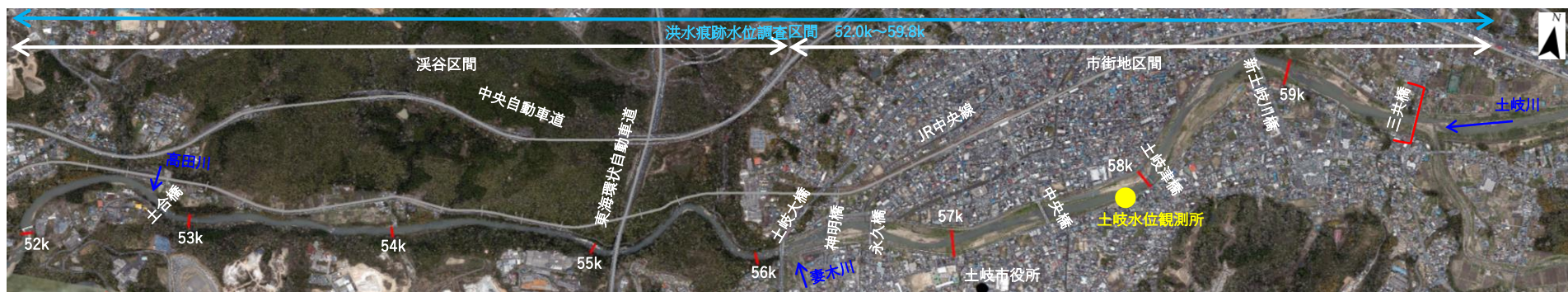
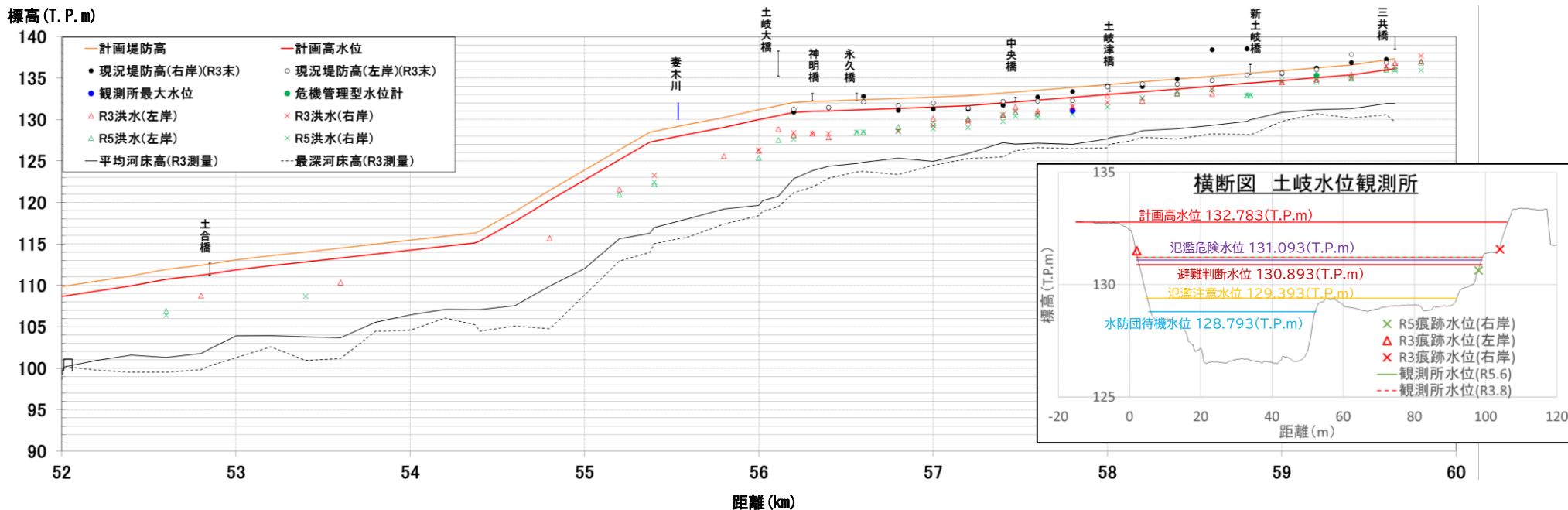


# 1. 令和5年6月出水の概要【土岐川の洪水痕跡水位調査の結果】

- 氾濫危険水位を超過した土岐水位観測所の受け持ち区間において、洪水痕跡水位調査を実施。
- 令和5年6月出水における洪水痕跡水位は、土岐水位観測所で氾濫危険水位を超過した直近の洪水である令和3年8月出水と比較して同規模程度であった。

## ■ 洪水痕跡の縦断図（土岐川上流）

※洪水痕跡水位調査は、観測所水位と比べて±0.5m程度の誤差を有している。



# 1. 令和5年6月出水の概要【洪水予報・水防予報】

○庄内川水系において、洪水予報及び水防警報を発表。

## ■洪水予報の発表状況（庄内川河川事務所と名古屋地方気象台の共同発表）

河川	基準観測所	号数	警報種別	発表日時
庄内川	土岐	1	氾濫警戒	6月2日 13:40
庄内川	土岐・志段味	2	氾濫危険	6月2日 14:10
庄内川・矢田川	多治見・瀬古	2	氾濫注意	6月2日 14:10
庄内川	枇杷島	2	氾濫警戒	6月2日 14:10
庄内川	志段味・枇杷島	3	氾濫注意（警戒情報解除）	6月2日 14:40
庄内川	土岐	4	氾濫注意（警戒情報解除）	6月2日 16:00
矢田川	瀬古	5	解除	6月2日 17:10
庄内川	多治見・志段味	6	解除	6月2日 18:30
庄内川	土岐・枇杷島	7	解除	6月2日 22:00

## ■水防警報発表状況

河川	基準観測所	号数	警報種別	発表日時
庄内川	土岐	1	準備	6月2日 13:10
矢田川	瀬古	1	準備	6月2日 13:40
庄内川	多治見	2	準備	6月2日 14:00
庄内川	多治見	2	出動	6月2日 14:00
庄内川	土岐	2	出動	6月2日 14:10
庄内川	志段味	1	準備	6月2日 14:40
庄内川	志段味	2	出動	6月2日 15:40
庄内川	枇杷島	1	準備	6月2日 15:40
庄内川	枇杷島	2	出動	6月2日 17:00
矢田川	瀬古	2	解除	6月2日 17:10
庄内川	多治見	3	解除	6月2日 17:40
庄内川	志段味	3	解除	6月2日 18:10
庄内川	土岐	3	解除	6月2日 22:00
庄内川	枇杷島	3	解除	6月2日 22:10

# 1. 令和5年6月出水の概要【小里川ダムによる洪水調節効果】

○令和5年6月出水では、小里川ダム地点では最大流入量 約220m<sup>3</sup>/sを観測したものの、小里川ダムの洪水調節(防災操作)により、下流へ流れる**洪水の量を最大約150m<sup>3</sup>/s軽減**。

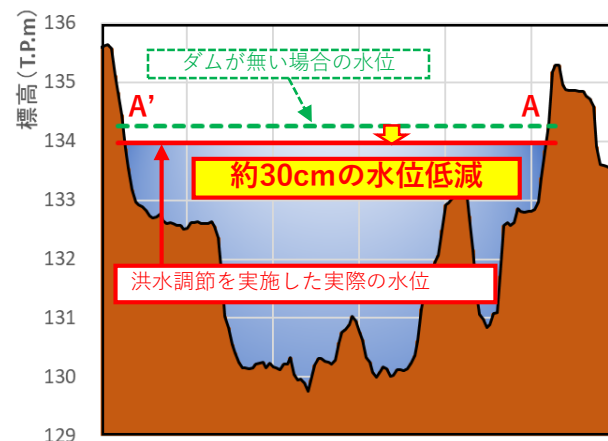
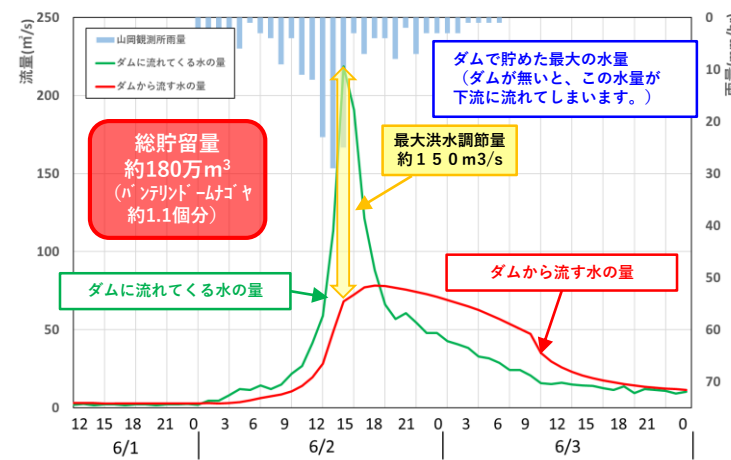
○これにより、土岐市泉町河合地先では、**約30cmの水位低減**があったと推定される。

※ダムが無い場合の水位及び最大被害想定は、簡易的な手法を元に算出している。  
 ※本資料の数値等は、速報値及び推定値であるため、今後の調査により変わる可能性がある。

## ■位置図



## ■小里川ダム洪水調節図 (R5年6月1日～3日)



※ダムが無い場合の水位及び最大被害想定は、簡易的な手法を元に算出しております。

# 1. 令和5年6月出水の概要【多治見市における浸水対策の事業効果】

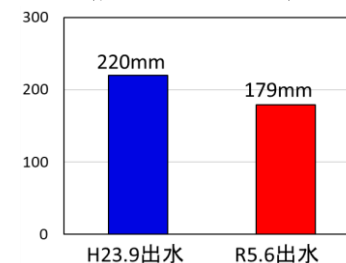
- 平成23年9月台風第15号の浸水被害を受けて、国、岐阜県、多治見市、地域住民等により浸水対策協議会を設置し、土岐川の河道掘削や堤防整備、脇之島川の付替え、土岐川右岸ポンプ場増設、土岐川左岸ポンプ場の新設等の浸水被害の軽減に向けた取組を実施。
- 令和5年6月出水では、土岐川の河道掘削の実施と小里川ダムの洪水調節効果により、多治見市平和町地先にて、**約50cmの水位低減**があったと推定される。
- また、土岐川右岸ポンプ場及び土岐川左岸ポンプ場稼働し、内水を排水した。
- 今回の降雨は、多治見地点上流域で平成23年9月出水に迫る雨量を観測したが、**家屋等の浸水被害を軽減**した。

※岐阜県多治見市平和町地先の水位は、簡易的な手法を元に算出している。  
 ※本資料の数値等は、速報値及び推定値であるため、今後の調査により変わる可能性がある。

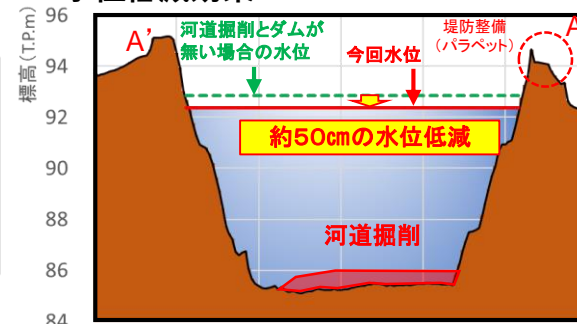
## ■浸水対策の主な取組



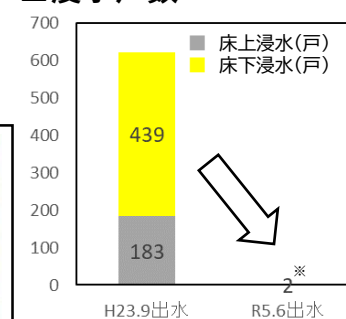
## ■24時間流域平均雨量 (多治見地点上流域)



## ■水位低減効果



## ■浸水戸数



※岐阜県公表資料6月5日時点より

岐阜県多治見市平和町地先(庄内川47.4k付近)  
 (参考) H23.9出水 浸水実績



※岐阜県多治見市平和町地先の水位は、簡易的な手法を元に算出しております。

## 2. 庄内川水系流域治水プロジェクトの取組状況

# 2. 庄内川水系流域治水プロジェクトの取組状況

令和5年3月31日公表時点

## 庄内川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、庄内川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 日本経済を支える産業集積地域である反面、日本一のゼロメートル地帯を有する流域であり、水害リスクが高い流域であることから、橋梁改築(狭窄部対策)や公園等を活用した高台の整備、地下空間・地区タイムラインの作成・周知等を実施する。
- これらの取組により、国管理区間においては、観測史上最大となった平成12年9月洪水(東海豪雨)および平成元年9月洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
  - 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、洗堰分派対策、放水路整備
  - 用排水路の改修
  - 排水機場等の新設・増強・長寿命化対策
  - 流出抑制対策
  - (既存ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築 (関係者・国、土岐川防災ダム一部事務組合など)、貯留管等の整備、民間開発による貯留施設設置指導、各家庭等における雨水貯留浸透施設設置への支援、ため池等の活用、水田の貯留機能向上、透水性舗装の整備、森林保全等)
  - 土砂災害対策
  - (砂防施設の整備、治山施設の整備 等)
  - 内水被害軽減対策
  - (雨水排水網の新設・増強、ポンプ場の新設・増強・機能強化、効率的なポンプ運転調整ルールの検討 等)

- 被害対象を減少させるための対策
  - 顕発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
  - (立地適正化計画への防災指針の位置づけ、水害リスクを考慮した居住誘導 等)
  - 浸水ハザードエリアにおける各家庭等への浸水防止対策
  - (浸水防止堀設置の支援、出水期前に希望する市民への土のうの事前配布 等)

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
  - 早期復旧に備えた対策
  - (防災拠点の整備、緊急河川敷道路の整備、大規模氾濫被害の軽減に向けた高速道路の一時利用 等)
  - 被害軽減対策
  - (公園等を活用した高台の整備、広域避難計画の策定、地下空間・地区タイムラインの作成・周知、水位周知下水道の指定・運用、要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、関係機関との連携強化、ハザードマップの更新、水害リスク空白域の解消、土砂災害警戒区域等の指定・周知 等)
  - 住民の主体的な避難行動を促す取組
  - (避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育・人材育成の推進、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 等)
  - ソフト対策のための整備
  - (危機管理型水位計・監視カメラの設置、増設 等)

### ● グリーンインフラの取組 詳細次ページ



※大臣管理区間以外は、県・政令市管理河川の代表的な箇所(河川)を示したものである。  
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。  
 ※上記の対策は代表的な事例を記載している。

## 庄内川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

### ●グリーンインフラの取組 『多様な生物の生息・生育環境の再生と市街地の良好な水辺空間の創出』

○庄内川の緑や水辺空間は、都市化の進んだ流域に残された貴重な自然空間となっており、動植物の生息・生育の場としても重要な空間となっている。  
 ○多様な動植物の生息・生育環境の保全と、貴重なオープンスペースとして、治水、利水、河川環境と調和を図りながら利活用を推進するため、今後、概ね30年間で、藤前干潟の保全・再生やレキ河原固有植物などの生息・生育環境の再生及び地域の関係者が連携して川と水辺空間につながるまちを一体的に活性化する整備を行うなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



- 自然環境の保全・復元などの自然再生
  - ・レキ河原再生
  - ・干潟保全・再生
  - ・河川の連続性の回復
  - ・ヨシ原再生
  - ・水際環境の創出
- 生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成
  - ・大型水鳥等の採餌場保全
  - ・休憩地等の生息環境創出
- 健全なる水循環系の確保
  - ・浄化浸透
- 沿川の保水・遊水機能を有する土地を保全
  - ・生物の生息環境の維持に資する土地の保全
- 治水対策における多自然川づくり
  - ・整備における生物の多様な生育環境の保全
  - ・河川景観の保全・創出
- 魅力ある水辺空間・賑わい創出
  - ・水辺の賑わい空間創出
  - ・ピオートの整備
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み
  - ・小中学校などにおける河川環境学習
  - ・自然環境保全に関する協議会等の活動
  - ・民間協働による水質調査

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。  
 ※上記の対策は代表的な事例を記載している。



# 2. 庄内川水系流域治水プロジェクトの取組状況

令和5年3月31日公表時点

## 庄内川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

● 庄内川では、上下流・支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

### 【短期】

- ・ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、**狭窄部下流で水位低下を目的とした河道掘削や雨水排水網の整備等**により、清須市や名古屋市下流部で浸水深・浸水面積の減少を図る。
- ・ 被害対象を減少させるための対策として、**浸水防止掘設置の支援や立地適正化計画への防災指針の位置づけ等**を推進する。
- ・ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策として、**公園等を活用した高台の整備や水害リスク空白域の解消に向けた中小河川における浸水想定区域の指定**を推進する。
- ・ **グリーンインフラの取組**として、**森林保全等の生物の生息環境の維持に資する土地の保全や桜並木沿いの遊歩道整備等の水辺の賑わい空間の創出等**を推進する。

### 【中期】

- ・ 短期に引き続き、**狭窄部対策(橋梁改築(JR新幹線橋等3橋))**等により、名古屋市下流部での浸水被害の解消を図るとともに、**防災指針等を踏まえ、構成員が一体となり水害リスクを考慮した居住誘導の推進や、中小河川における浸水想定区域のハザードマップへの反映等**を行う。**グリーンインフラ**について、短期に引き続き、**生物の生息環境の維持に資する土地の保全や干潟保全・再生等**を行う。

### 【中長期】

- ・ さらに、**洗掘分派対策や狭窄部上流の河道掘削等**により、中下流域の浸水被害解消を図るとともに、**被害対象を減少させるための対策、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**についても引き続き実施し、**流域全体の安全度向上**を図りつつ、**グリーンインフラの取組**を推進する。

### 【ロードマップ】

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※ ■■■■■■ : 対策実施に向けた調整・検討期間を示す。



気候変動を踏まえた  
更なる対策を推進

【事業費】	
■ 河川対策 全体事業費 対策内容	約 3,266 億円 ※1 堤防整備、河道掘削、橋梁改築 等
■ 砂防対策 全体事業費 対策内容	約 219 億円 ※2 砂防施設の整備、治山施設の整備 等
■ 下水道対策 全体事業費 対策内容	約 1,166 億円 ※3 貯留管等の整備、 ポンプ場の新設・増強 等

※1: 河川対策は、河川整備計画の河川整備計画の事業費を記載  
 ※2: 砂防対策は、河川整備計画の砂防対策事業費を記載  
 ※3: 下水道対策は、下水道事業計画の下水道事業費を記載

※1: 実施主体ではないが、連携する機関 ※2: 各対策による旗揚げでは、代表的な市町名を記載

## 庄内川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）</p>  <p><b>整備率：81%</b> (概ね5か年後)</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p><b>10市町村</b> (令和4年度末時点)</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p><b>279施設</b> (令和3年度実施分)</p>	<p>山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策</p>  <p>治山対策等の実施箇所 <b>4箇所</b> (令和4年度実施分) 砂防関連施設の整備数 <b>3施設</b> (令和4年度完成分) ※施行中 6施設</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p><b>1市町村</b> (令和4年12月末時点)</p>	<p>避難のためのハザード情報の整備</p>  <p>洪水浸水想定区域 <b>9河川</b> (令和4年9月末時点) ※一部、令和4年3月末時点 内水浸水想定区域 <b>5団体</b> (令和4年9月末時点)</p>	<p>高齢者等避難の突効性の確保</p>  <p>避難確保 洪水 <b>3858施設</b> 計画 土砂 <b>186施設</b> (令和4年9月末時点) 個別避難計画 <b>16市町村</b> (令和4年1月1日時点)</p>
---	---	---	---	---	---	---

### 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



八田川の堤防整備 (愛知県)



治山施設の整備 (岐阜県)



雨水貯留施設の整備 (北名古屋市)



雨水貯留施設の整備 (大治町)

### 被害対象を減少させるための対策



立地適正化計画への防災指針位置付けに向けた検討(名古屋市)



立地適正化計画(策定中)に防災指針を定め事業化を進める土地区画整理事業(瀬戸市)

### 被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策



手作りハザードマップの作成 (清須市)



ハザードマップの更新 (大口町)



地区タイムラインの作成(恵那市)

## 庄内川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

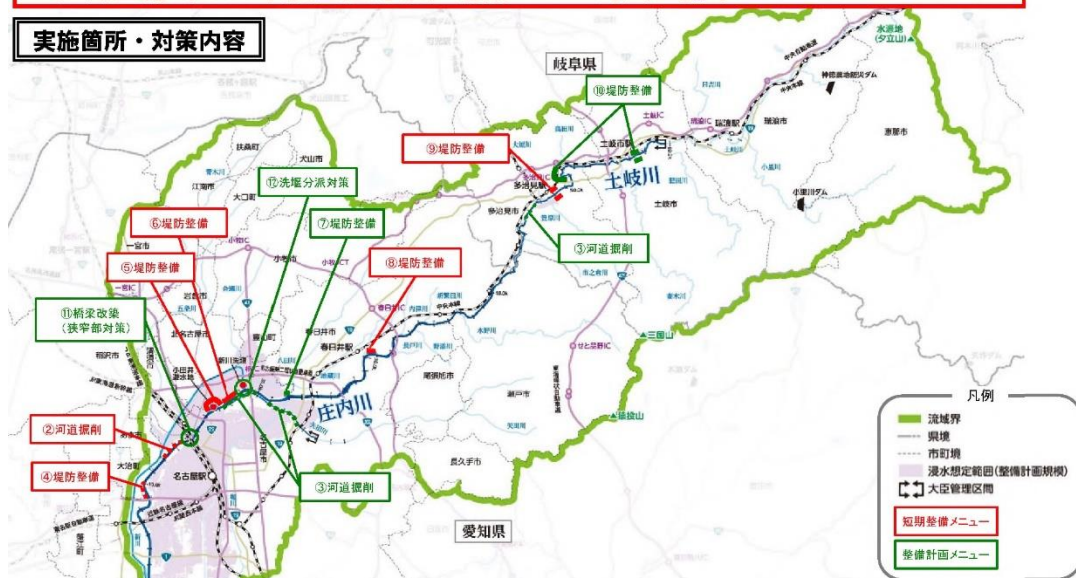
～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

○短期整備の河道掘削完了に伴い、枇杷島地区狭窄部を含む下流の水位を低下させ、清須市における中頻度(1/50規模)の洪水の浸水被害を解消し、東海豪雨と同規模の洪水(1/100規模)において、名古屋市下流部(中川区、中川区等)で浸水被害を軽減(浸水面積約500ha、浸水世帯数約2万世帯の減)させることが可能。また、短期整備の堤防強化完了に伴い、堤防の安全性を向上させることが可能。

○併せて、協議会構成員・オブザーバーにより、被害対象を減少させるための対策や被害の軽減、早期復旧・復興のための対策等を実施することで、流域全体の安全度を向上させる。

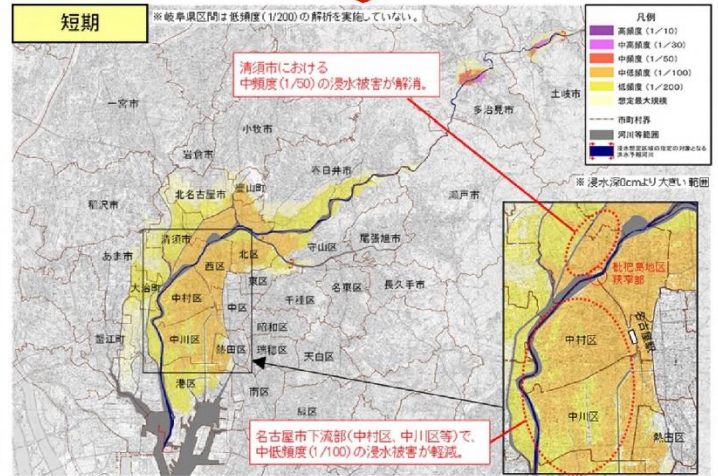
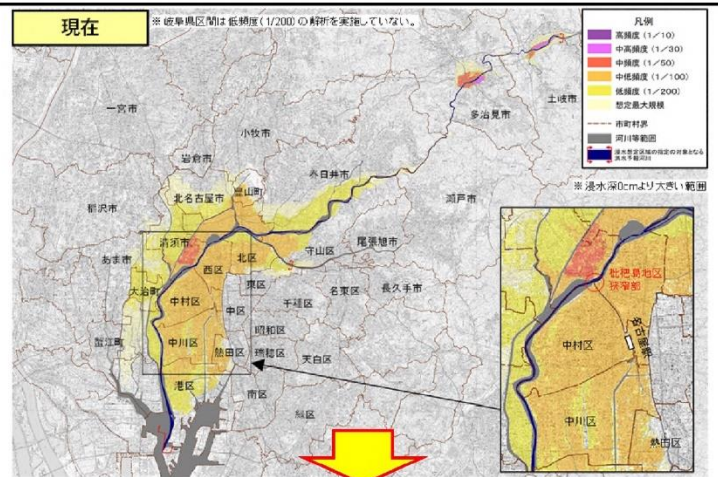
**短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 76% → 81%**

### 実施箇所・対策内容



区分	対策内容	区間	進捗		
			短期 (R3~R7年度) 1/40~1/50 (8R1)	中長期 (R8~R13年度) 1/50~1/90 (8R1)	中長期 (R14~R19年度) 1/90~1/100 (8R1)
河道掘削	①宝神地区	1%	100%	100%	100%
		②日比津地区	0%	100%	100%
		③枇杷島橋上流～	0%	0%	100%
		④万福地区	5%	100%	100%
堤防整備	⑤小田井地区	36%	100%	100%	
	⑥山田地区	72%	100%	100%	
	⑦味野地区	0%	0%	100%	
	⑧上条地区	0%	100%	100%	
橋梁改良 (狹窄部対策)	⑨香泉地区等	0%	0%	100%	
	⑩新川洗堰	0%	0%	100%	

- 【短期整備完了時の進捗】**
- ①宝神地区 河道掘削 19%→100%
  - ②日比津地区 河道掘削 0%→100%
  - ④万福地区 堤防整備 59%→100%
  - ⑤小田井地区 堤防整備 36%→100%
  - ⑥山田地区 堤防整備 70%→100%
  - ⑧上条地区 堤防整備 0%→100%
  - ⑨香泉地区 堤防整備 0%→100%
  - ⑩豊岡地区 堤防整備 0%→100%



・当該箇所は愛知県区間について示したものです。また、この確率以下の洪水においても、従来等により破壊する可能性があります。(※1)  
 ・右図は、外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合があります。  
 ・短期の図については、国直轄事業の実施による効果です。

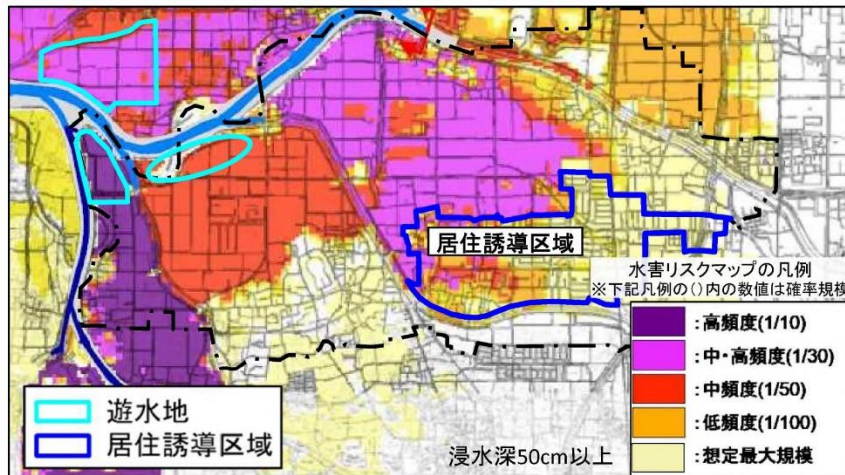
## 2. 庄内川水系流域治水プロジェクトの取組状況【具体的な取組】

### 多段的なハザード情報の提供による水害に強いまちづくりの支援

- 浸水範囲と浸水頻度の関係を図示した水害リスクマップ(浸水頻度図)について、防災まちづくりを推進する地域における対策検討の充実に資するよう、外水に加え内水も考慮した水害リスクマップを作成。
- 水害リスクマップのベースとなっている多段階の浸水想定図をオープン化するとともに、床上浸水の可能性など、実感が得られやすい形で表示・提供し、情報の利活用を推進。
- こうした多段的なハザード情報を流域の関係者に提供により、水害に強い地域づくりの検討を技術的に支援。

#### 防災まちづくりにおける水害リスク情報の活用推進

防災まちづくりを推進する市町村等を対象に、外水に加え内水も考慮した水害リスクマップを作成の上、治水対策の検討や立地適正化計画における防災指針の検討・作成への活用を推進することで、水害リスクの高い地域を避けた居住誘導や、浸水に対する住まい方の工夫等を促進。

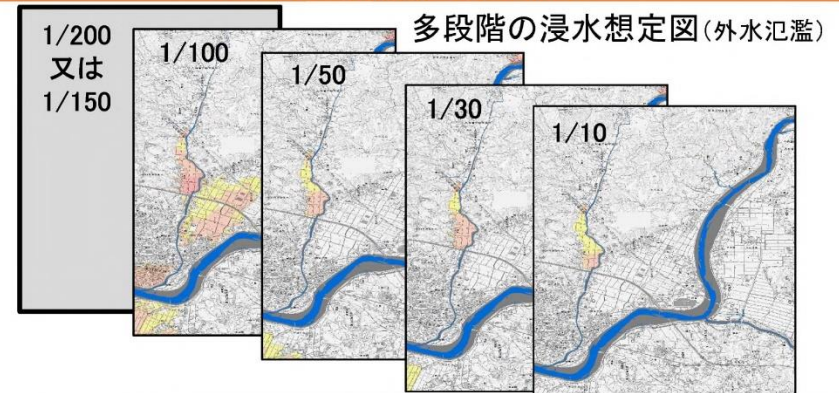


水害リスクマップを活用した防災まちづくり検討イメージ

令和4年12月に全国の国管理河川の水害リスクマップと多段階の浸水想定図をまとめたポータルサイトを開設

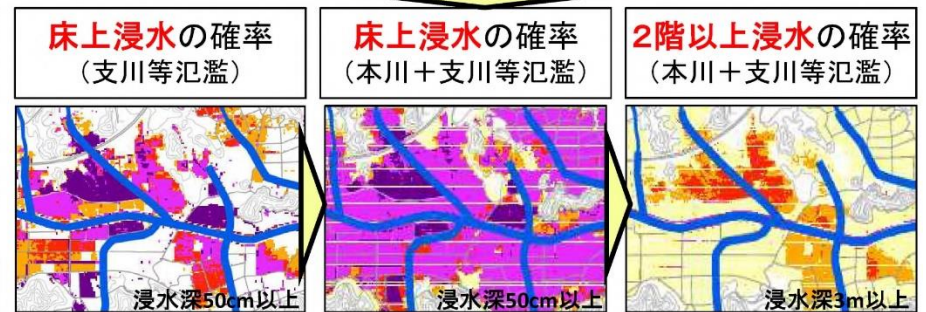


#### 水害リスク情報の見える化



令和5年度よりオープンデータ化に着手し、民間等の様々な主体における利活用を促進

実感が得られる形で見える化



水害リスク表示のイメージ

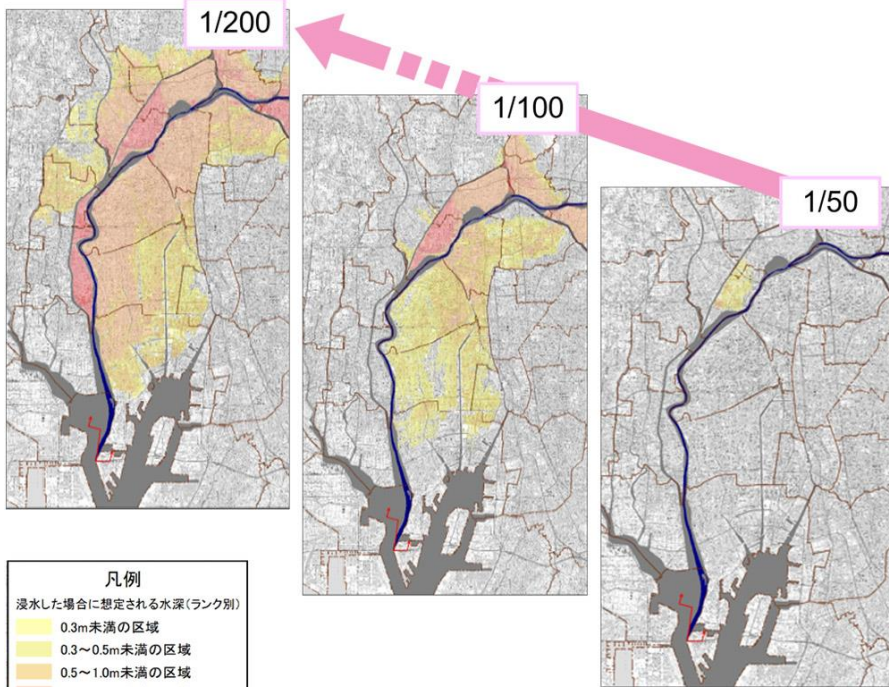
## 2. 庄内川水系流域治水プロジェクトの取組状況【具体的な取組】

- 令和5年3月31日に庄内川の国管理区間の外水氾濫のみの多段階浸水想定図と水害リスクマップを公表。
- 今後、内外水統合型のモデルの多段階浸水想定図と水害リスクマップへ拡張を予定。

### 多段階の浸水想定図

【庄内川水系】1/10・1/30・1/50・1/100・1/200

年超過確率 1/〇〇：毎年、1年間にその規模を超える現象が発生する確率

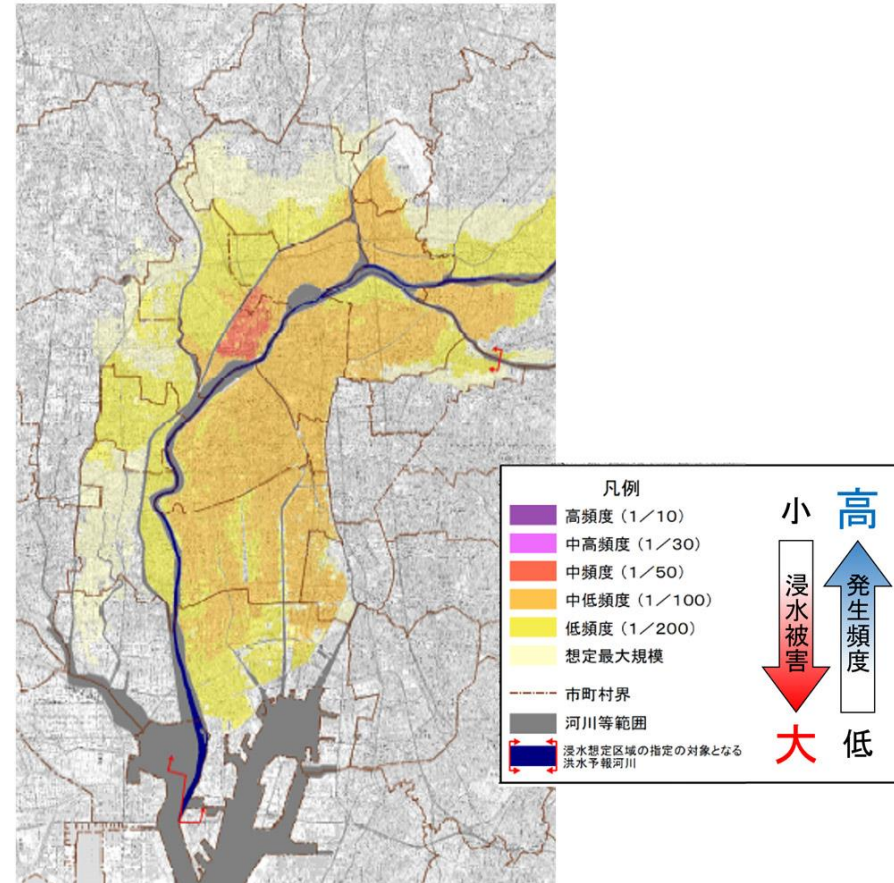


凡例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
0.3m未満の区域	0.3~0.5m未満の区域
0.5~1.0m未満の区域	1.0~3.0m未満の区域
3.0~5.0m未満の区域	5.0~10.0m未満の区域
10.0~20.0m未満の区域	
市町村界	河川等範囲
浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川	



### 水害リスクマップ

【庄内川水系】1/10～想定最大規模降雨の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたもので、年超過確率毎の浸水域を图示



※1/10年超過確率規模の降雨では、庄内川からの浸水は発生しない

### 3. 流域治水プロジェクト2.0の動向

# 3. 流域治水プロジェクト2.0の動向

## 流域治水プロジェクト2.0

～気候変動下で水災害と共生する社会をデザインする～

○ 気候変動の影響により当面の目標としている治水安全度が目減りすることを踏まえ、流域治水の取組を加速化・深化させる。このために必要な取組を反映し『流域治水プロジェクト2.0』に更新する。

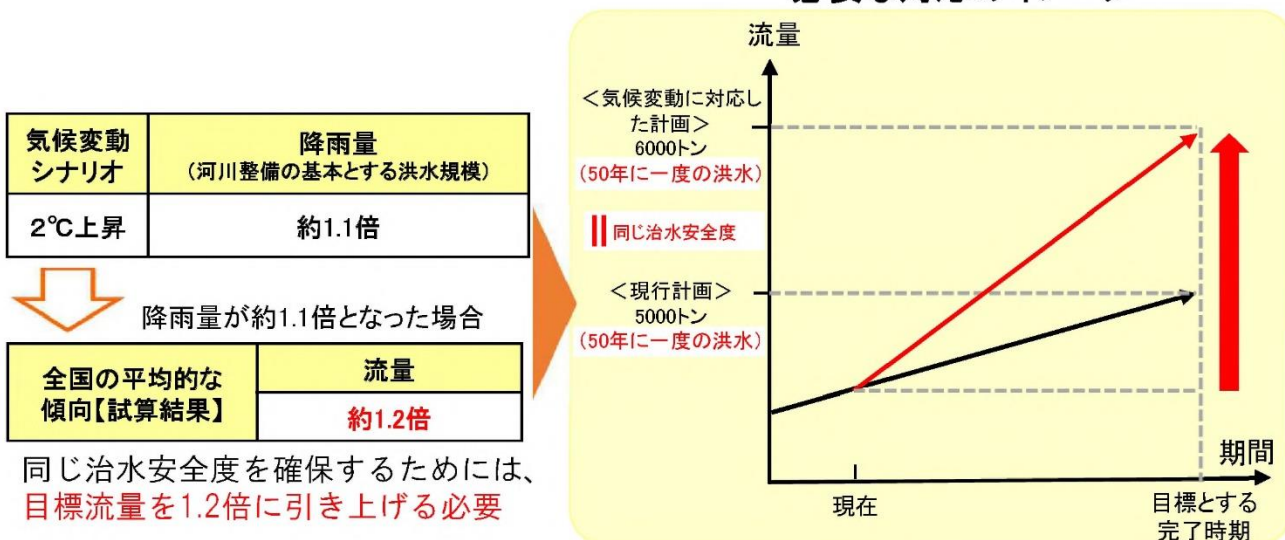
### 現状・課題

- ▶ 2℃に抑えるシナリオでも2040年頃には降雨量が約1.1倍、流量が1.2倍、洪水発生頻度が2倍になると試算
- ▶ 現行の河川整備計画が完了したとしても治水安全度は目減り
- ▶ グリーンインフラやカーボンニュートラルへの対応
- ▶ インフラDX等の技術の進展

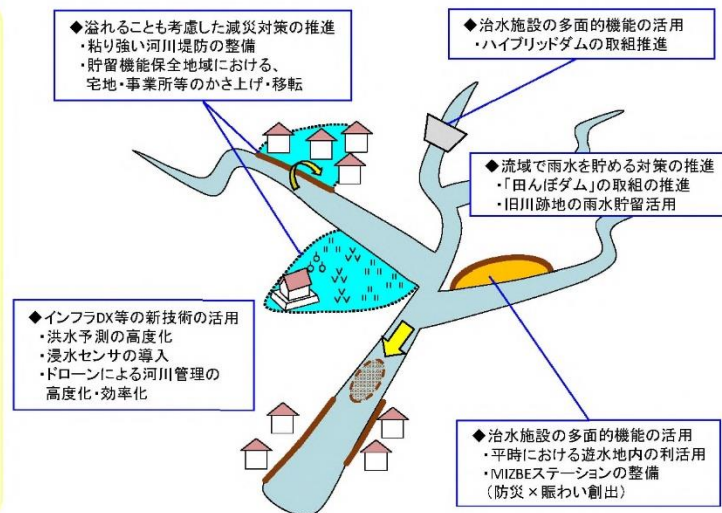
### 必要な対応

- ▶ 気候変動下においても、目標とする治水安全度を現行の計画と同じ完了時期までに達成する
- ▶ あらゆる関係者による、様々な手法を活用した、対策の一層の充実を図る

### 必要な対応のイメージ



### 様々な手法の活用イメージ



※現行の計画と同じ完了時期までに目標とする治水安全度を達成するため、様々な手法を活用し、集中的に整備を進めることが必要  
⇒全国109水系で、上記の対策内容を反映した『流域治水プロジェクト2.0』に順次更新する

# 3. 流域治水プロジェクト2.0の動向（先行河川の事例）

## 気候変動に伴う水害リスクの増大

別紙2  
(狩野川水系)

○整備計画で目標としている狩野川台風に次ぐ規模の洪水に対し、2℃上昇時の降雨量増加を考慮した雨量1.1倍となる規模の洪水が発生した場合、狩野川流域では浸水世帯数が約4,700世帯（現況の約1.8倍）になると想定され、事業の実施により、浸水被害が約1,900世帯に軽減される。

### ■気候変動に伴う水害リスクの増大

【目標①】  
KPI: 浸水世帯数

約4,700世帯⇒約1,900世帯



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。それに伴い、上記の浸水範囲も変更となる場合がある。

### ■水害リスクを踏まえた各主体の主な対策と目標

【目標①】気候変動による降雨量増加後の狩野川台風に次ぐ洪水に対する安全の確保

狩野川流域

種別	実施主体	目的・効果	追加対策	期間
氾濫を防ぐ・ 減らす	国	浸水被害を解消	既設放水路の最大限活用 放水路改築: 300~1,400m <sup>2</sup> /s分派量増加 遊水池: 数カ所 河道掘削: 約30~40万m <sup>2</sup> <現計画の約1.5倍> 堤防整備	概ね 30年
	静岡県	令和元年東日本台風規模に対する対策	河道掘削 護岸整備	概ね 15年

【目標②】市町における内水被害の軽減  
(気候変動の影響が含まれている可能性がある令和元年東日本台風規模の出水による浸水被害を軽減)

種別	実施主体	目的・効果	追加対策	期間
氾濫を防ぐ・ 減らす	伊豆の国市	床上浸水の概ね5割解消※	浸水対策、排水路網の改善	概ね 20年
	三島市	床上浸水の概ね5割解消※	河道掘削、水田貯留、歩道舗装透水性化	
	沼津市	床上浸水の概ね5割解消※	護岸整備、排水機場整備	
	函南町	床上浸水の概ね4割解消※	堆積土砂の浚渫、水田貯留、既存ため池の事前放流、歩道舗装透水性化、排水路網の改善	
清水町	町内の水害リスク軽減	土砂掘削、護岸整備、抜底貯留		
早期復旧・復興・ 被害の軽減	流域市町	被害の軽減 早期復旧・復興	内水ハザードマップや地区防災計画、マイ・タイムラインの作成促進等のソフト対策を静岡県や各市町にて実施	各機関で 順次実施

※)令和元年東日本台風時の浸水戸数に対する割合

注)目的・効果は、現行計画である狩野川内水対策アクションプランの目標。下線は、アクションプランに加え浸水被害解消に向けた検討メニュー。



# 3. 流域治水プロジェクト2.0の動向（先行河川の事例）

## 狩野川流域治水プロジェクト2.0【位置図】

～都市化の進む流域において総合的な治水対策を一層推進し、浸水被害を軽減～

- 令和元年東日本台風では、各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、以下の取り組みを一層推進していくこととし、更に国管理区間の狩野川においては、気候変動（2℃上昇）下でも目標とする治水安全度を維持するため、整備計画で目標としている狩野川台風に次ぐ規模の洪水に対して2℃上昇時の降雨量増加を考慮した雨量1.1倍となる規模の洪水を、安全に流下させることを目指す。
- 加えて、令和元年東日本台風で顕在化した中上流部の内水被害に対して、国・県・市町が連携し、本川支川の河道掘削や排水機場の整備、水田貯留等の流出抑制対策、さらには安全なまちづくりに向けた取り組み等を、短期・中期・中長期の期間においてより一層強力に推進し令和元年東日本台風と同規模の内水に対して、狩野川流域全体で床上浸水の概ね5割解消を目指す。更に、床上浸水解消を図るため、排水路網の改善等の検討を引き続き進める。



# 3. 流域治水プロジェクト2.0の動向（先行河川の事例）

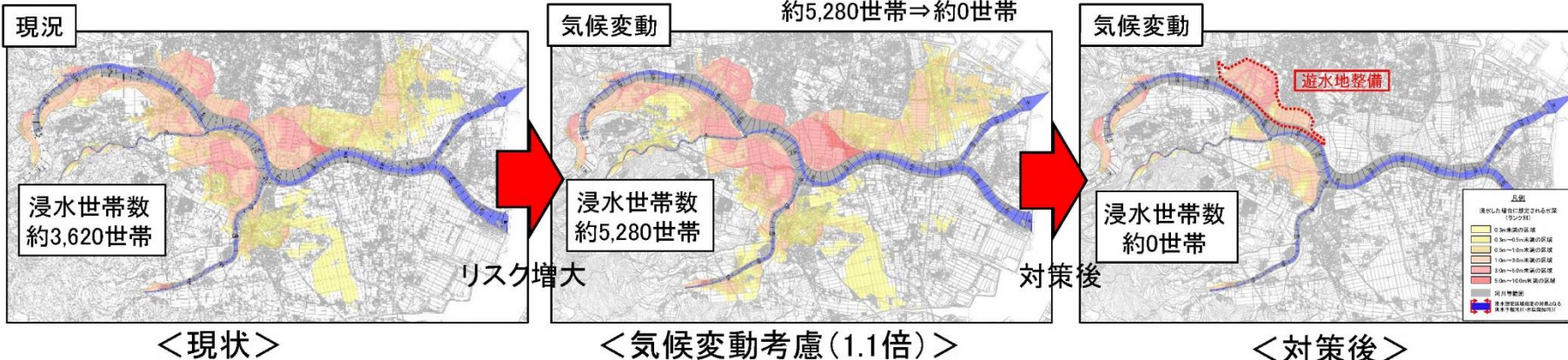
## 気候変動に伴う水害リスクの増大

別紙3  
(雲出川水系)

○戦後最大(昭和57年8月)洪水に対し、2℃上昇時の降雨量増加を考慮した雨量1.1倍となる規模の洪水が発生した場合、雲出川流域では浸水世帯数が約5,280世帯(現況の約1.5倍)になると想定され、事業の実施により、浸水世帯数が解消される。

### ■気候変動に伴う水害リスクの増大

【目標①】  
KPI: 浸水世帯数  
約5,280世帯→約0世帯



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。それに伴い、上記の浸水範囲も変更となる場合がある。

### ■水害リスクを踏まえた各主体の主な対策と目標

【目標①】気候変動による降雨量増加後のS57.8洪水規模に対する安全の確保

雲出川流域

種別	実施主体	目的・効果	追加対策	期間
氾濫を防ぐ・減らす	国	約5,280世帯の浸水被害を解消	河道掘削:80万~160万㎡<現計画の1.5~2.0倍> 洪水調節施設増強の検討(遊水地3~5箇所) 粘り強い河川堤防	概ね30年
	県	家屋浸水の解消、農地等の浸水被害の軽減	【赤川流域】雲出川合流点~近鉄橋梁下流(延長1.7km) 河道拡幅・河道掘削・築堤等	概ね30年
被害対象を減らす	国	浸水被害を軽減	流域の二線堤、遊水機能の保全	概ね10年
	津市・松阪市	立地適正化計画による居住誘導	立地適正化計画に基づく防災指針の作成	概ね10年
被害の軽減・早期復旧・復興	津市・松阪市	避難確保計画作成し、実効性ある避難により、被害を軽減	要配慮者施設の避難確保計画作成の促進	概ね5年

【目標②】特定都市河川(中村川・波瀬川、赤川)流域における浸水被害の軽減

種別	実施主体	目的・効果	追加対策	期間
氾濫を防ぐ・減らす	津市	波瀬川流域排水区の浸水被害の軽減	排水施設等の整備	概ね10年
被害対象を減らす	三重県 津市・松阪市	浸水被害の軽減	浸水被害防止区域等の指定の推進	順次実施
被害の軽減・早期復旧・復興	津市・松阪市	被害の軽減 早期復旧・復興	内水ハザードマップや地区防災計画、マイ・タイムラインの作成促進等のソフト対策の実施	順次実施

※上記を含めた対策メニューを位置づけた流域水害対策計画を概ね1年程度で策定。

# 3. 流域治水プロジェクト2.0の動向（先行河川の事例）

## 雲出川水系流域治水プロジェクト2.0【位置図】

～遊水機能を確保し三重の中心地域を守る流域治水対策～

- 令和元年東日本台風では、全国で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、雲出川流域においても、事前防災対策を推進することとし、更に国管理区間及び県管理区間の赤川においては、**気候変動（2℃上昇）下でも目標とする治水安全度を維持するため、戦後最大流量を記録した昭和57年8月洪水に対し2℃上昇時の降雨量増加を考慮した雨量1.1倍となる規模の洪水において、浸水被害を軽減させることを目指す。**
- 中村川・波瀬川・赤川流域では、**気候変動の影響に伴う降雨量や洪水発生頻度の変化という新たな課題や流域の土地利用の変遷に伴う保水・遊水地域の減少等を踏まえ、将来に渡って安全な流域を実現するため、特定都市河川浸水被害対策法の適用を行い、更なる治水対策を推進する。**
- 「**田んぼダム**」の取組促進と農業用ため池の活用等の流域対策により浸水被害の軽減を図る。

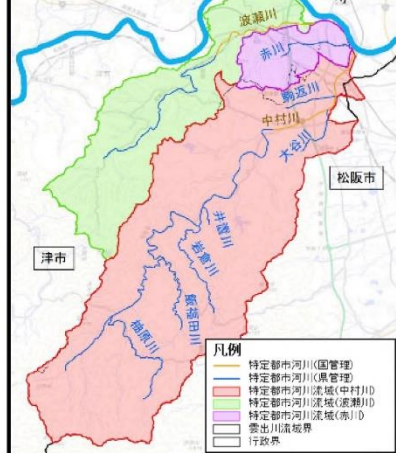
### ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 流域全体でのグリーンインフラの取組\*
- 【津市、松阪市】 雨水貯留・浸透施設による流出抑制
  - 【三重県、津市、松阪市】 「田んぼダム」活動への支援
  - 農業用ため池の活用
  - 【林野庁、森林整備センター、三重県、津市、松阪市】 水源涵養機能の向上

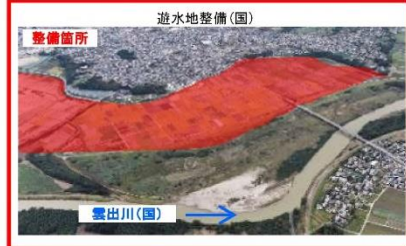
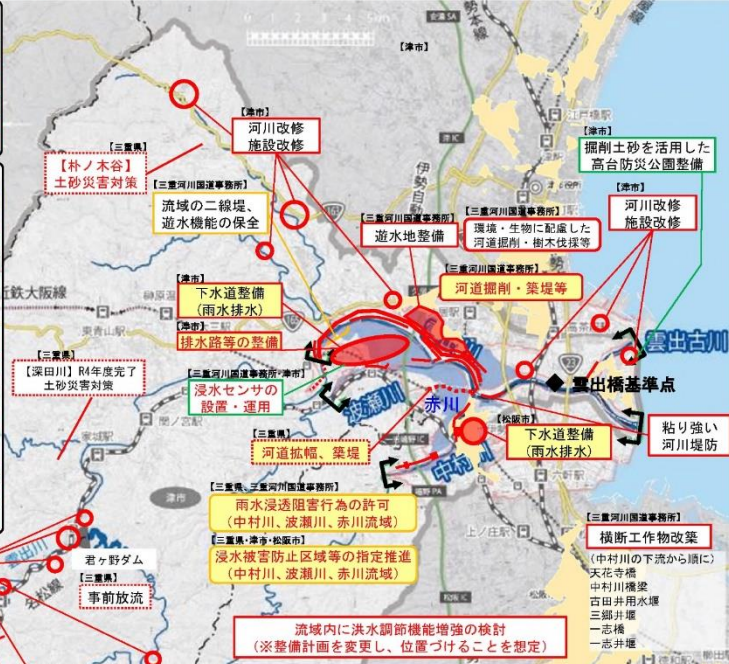
### ■ 被害対象を減少させるための対策

### ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

### 特定都市河川・流域



- ソフト施策の推進
- 【津市、松阪市】 立地適正化計画に基づく防災指針の作成
  - 【三重河川国道事務所】 三次元管内画による浸水想定の見える化
  - 内外水統合の水害リスクマップの見える化
  - BIM/CIM活用による三次元モデルの種々な活用
  - 【津市、松阪市】 すべての要配慮者施設の避難確保計画作成促進
  - 企業等と連携した避難体制等の確保
  - 【松阪市】 マイタイムラインの作成促進
  - 【三重河川国道事務所、三重県、津市、松阪市】 持続的な水災害教育の実施と伝承
  - 【気象庁】 防災気象情報の改善
  - 【三重河川国道事務所、三重県、津市、松阪市、気象庁】 SNS・広報誌等を活用した継続的な情報発信



- 凡例
- 流域界
  - 浸水想定区域図（想定最大規模）
  - 実績浸水範囲（戦後最大の昭和57年8月洪水）
  - 大臣管理区間
  - 大臣管理区間の対策（赤：流域治水2.0より追加、検討中含む）
  - 県管理区間の対策（赤：流域治水2.0より追加、検討中含む）
  - 市町の対策（赤：流域治水2.0より追加、検討中含む）
  - 特定都市河川指定により重点的に取組む対策
  - 立地適正化計画の居住誘導区域（津市、松阪市）

雨水貯留・浸透施設による流出抑制（三重県、三重河川国道事務所）

許可・必要！ 特定都市河川流域で雨水浸透阻害行為を行う際には「流出抑制」の許可が必要

以下のような、雨水浸透阻害行為（1,000㎡以上の敷地面積）を行う際には、事前に流出抑制の許可申請が必要

雨水を貯めたり、流出させたりする行為が必要です。

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

※流域治水プロジェクト2.0で新たに追加した対策については、今後河川整備計画変更の過程でより具体的な対策内容を検討する。

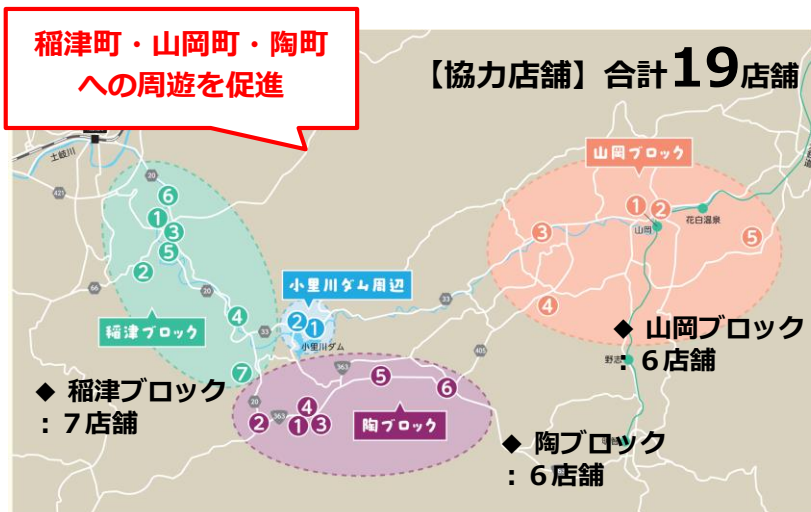
## 4. 小里川ダム20周年の取組

# 4. 小里川ダム20周年の取組

- 令和5年3月に小里川ダムは完成20年を迎え、記念イベントとして「”ハタチの小里川ダム”スタンプラリー」を開催(令和5年8月1日～11月26日)。
- 小里川ダム管理支所では、水源地協議会をはじめとする地域の協力を得て、イベントの企画・運営を行った。
- 本イベントでは、小里川ダムへの関心の向上に加えて、参加者のSNSによる拡散等による波及効果や全ての地域への周遊による経済効果等があり、地域振興に寄与。



スタンプラリー大抽選会パンフレット



### <地域の声>

- ・ 毎年(又は10周年毎に)開催して欲しい
- ・ 全国からマニアの方が来てくれる
- ・ 新規のお客さんも来てくれてありがたい
- ・ イベントを通じてダムに興味を持った

スタンプラリー対象店舗/対象店舗の声

スタンプラリーの景品(抽選)としてダムレアグッズを提供

特選 限定6個

放流ゲート設備の一部装置

準特選 限定40個

ダムの礎盤石

ダムの礎メダル

残念賞

20周年記念カード

スタンプラリーの景品(抽選)